LIXIL

竿掛セットJ（標準本体）
竿掛セットE（ワイド本体）
サンクテラスⅡ取付け用 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。
※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

⚠注意

●商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●本商品は、サンクテラスⅡ専用です。他の商品には取付けないでください。
●本商品には標準本体Jとワイド本体Eがあります。ワイド本体Eでは、出幅3尺以下には取付けできません。
●本商品は、50kg以上（竿を含む）の物を干したり、本商品および竿にぶらさがったり物干し以外での使用はしないでください。破損しケガをするおそれがあります。
●本商品には、風の強い日には使用しないでください。
●サンクテラスⅡ Rタイプの曲げ部分には取付けできません。

＜施工上のご注意＞

⚠注意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

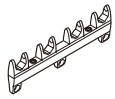
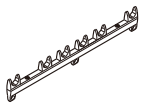
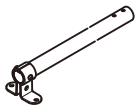
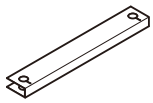
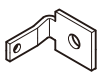
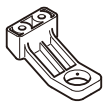
＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

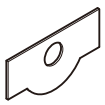
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●風当たりの強い場所では、テラスの周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

■梱包明細表

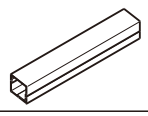
【1】竿掛セット

名　称	略　図	員　数			
		標準タイプ		ワイドタイプ	
		2本入	3本入	2本入	3本入
物干し本体 標準本体（竿掛セットJ）		2	3	—	—
物干し本体 ワイド本体（竿掛セットE）		—	—	2	3
吊金具（取付金具S字付き）		4	6	4	6
スライド棒		4	6	4	6
位置出し紙		1	1	1	1
取付金具L型		8	12	8	12
サポート（φ18用）		4	6	4	6

【1】竿掛セット（つづき）

名　称	略　図	員　数			
		標準タイプ		ワイドタイプ	
		2本入	3本入	2本入	3本入
当て紙		1	1	1	1
【1-1】φ4×25 ナベタッピンネジ2種	—	8	13	8	13
【1-2】φ4×16 ナベドリルネジ	—	9	14	9	14
【1-3】M5×16 トラス小ネジ	—	4	6	4	6
【1-4】M5六角ナット	—	4	6	4	6
【1-5】M5×20 ナベタッピンネジ3種	—	8	13	8	13
【1-6】M4×14 ナベ小ネジ（剣先）	—	8	13	8	13
【1-7】M4×10 ナベ小ネジ	—	—	—	6	9
【1-8】M4用平座金	—	8	13	—	—
取付説明書	—	1	1	1	1

【2】物干し取付け桟セット

名　称	略　図	員　数
物干し取付け桟		2
取付け金具スペーサー		2
【2-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種	—	4

Z265_200802B

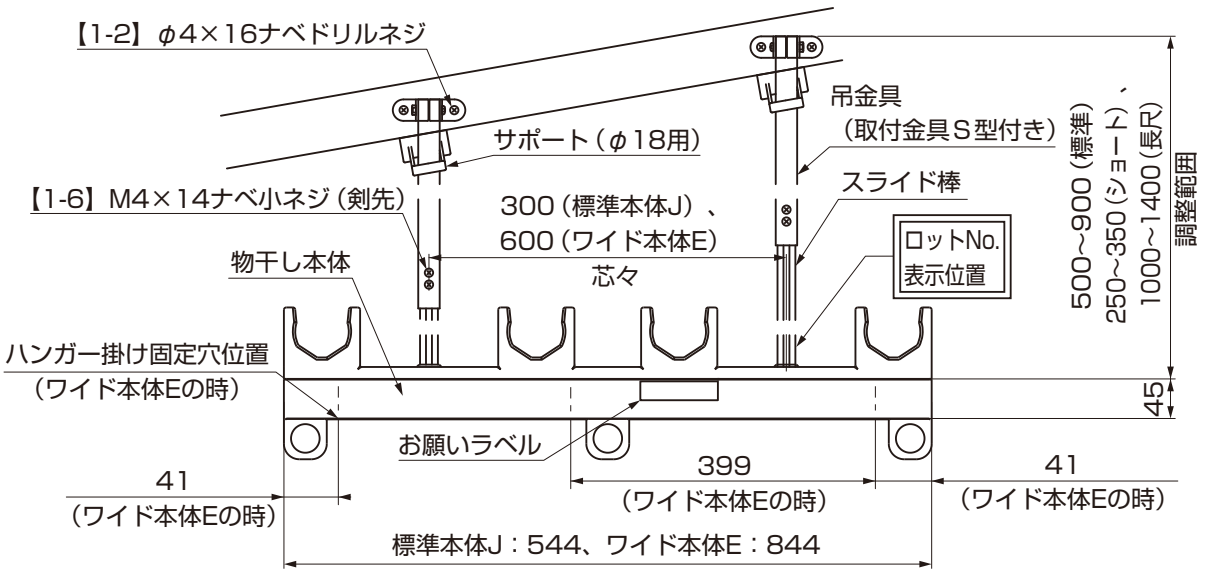
INDEX

1　基本寸法と各部名称…… 4
　1．基本寸法…… 4
　2．各部名称…… 5
2　垂木に取付ける場合…… 6
　1．垂木部の加工・組立て…… 6
　2．物干し本体の組立て…… 8
　3．物干し本体と吊金具の取付け…… 9
　4．垂木部の補強…… 10
3　物干し取付け桟を使用する場合…… 11
　1．吊金具の加工…… 11
　2．物干し本体と吊金具の取付け…… 12
　3．物干し取付け桟の加工…… 13
　4．物干し取付け桟（前枠側）の取付け…… 13
　5．吊金具（前枠側）の取付け…… 14
　6．物干し取付け桟、吊金具（躯体側）の取付け…… 15
　7．吊金具の固定…… 15

1　基本寸法と各部名称

1. 基本寸法

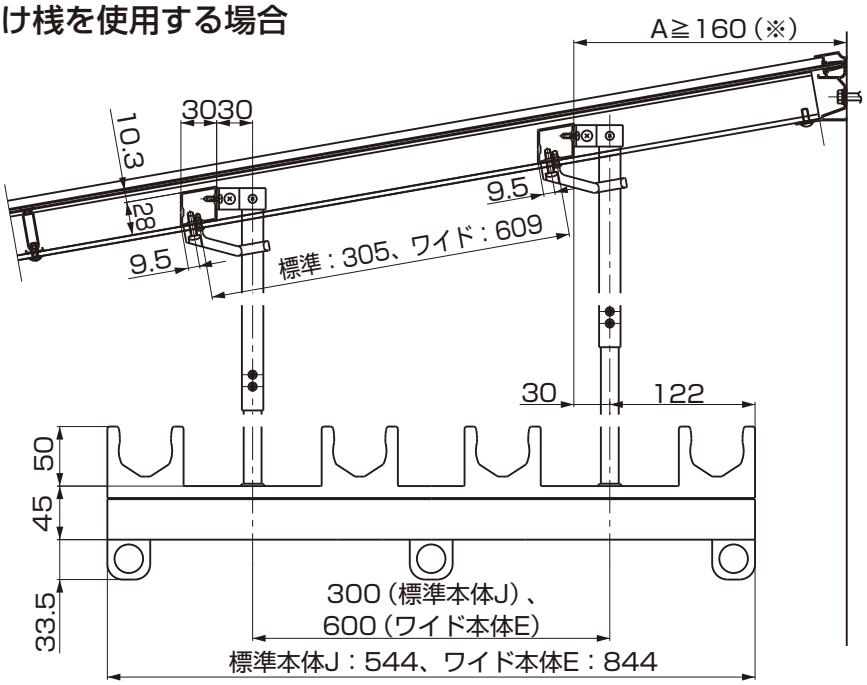
1-1　垂木に取付ける場合　※図は竿掛けセットJ（標準本体）を示します。



補 足

●ハンガー掛け固定穴の加工は、ワイド本体Eのときにあけてください。
●お願いラベルが施主様に見えるように取付けてください。
●ワイド本体Eは3尺以下のテラスには取付けできません。
●側面パネルと施工する場合は「テラス前面・側面スクリーン・側面パネル（Z278）」をご参照ください。
●サンクテラスⅡ Rタイプの曲げ部分には取付けできません。

1-2　物干し取付け桟を使用する場合



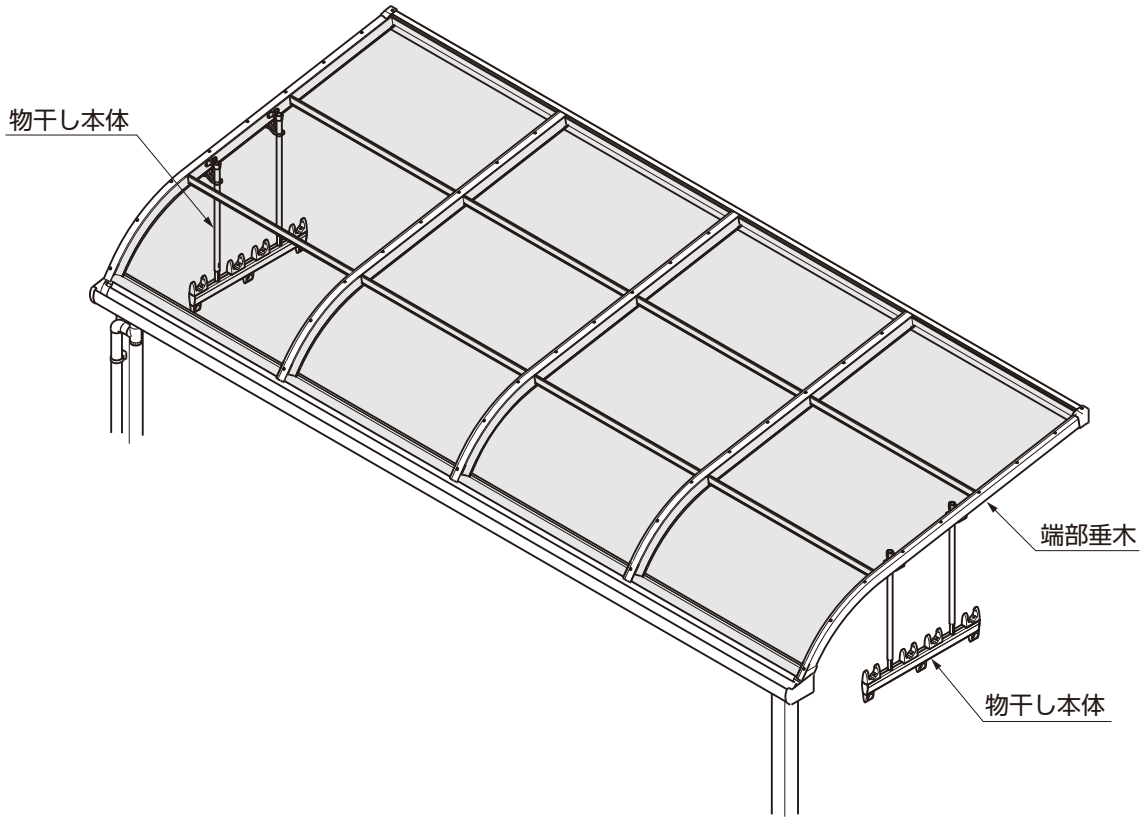
補 足

●吊金具が逆側につく場合は、A≧70となります。

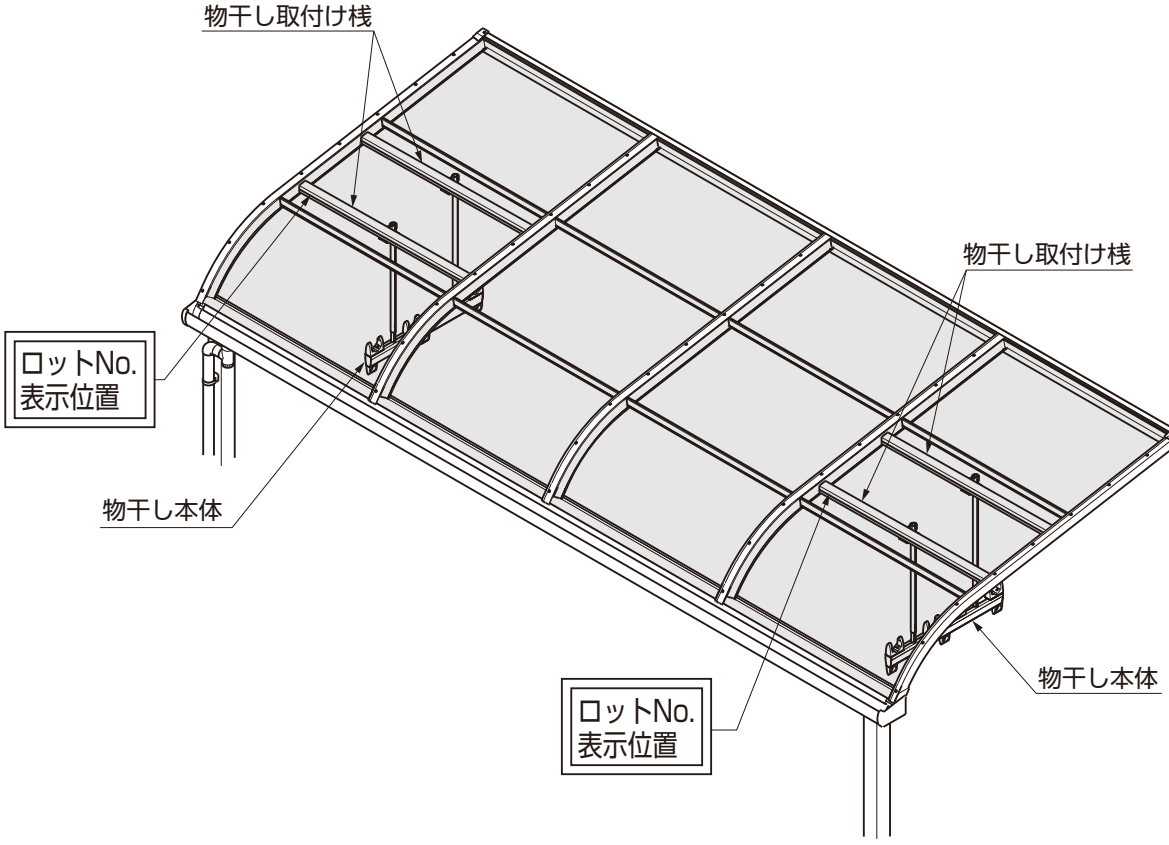
Z265_200802B

2. 各部名称

1-1 垂木に取付ける場合



1-2 物干し取付け桟を使用する場合



Z265_200802B

2　垂木に取付ける場合

1. 垂木部の加工・組立て

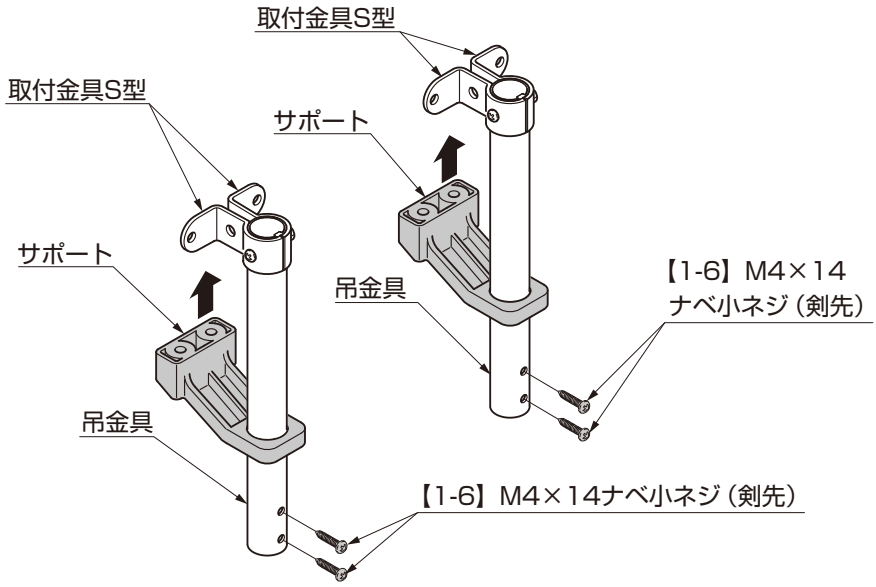


図2-1

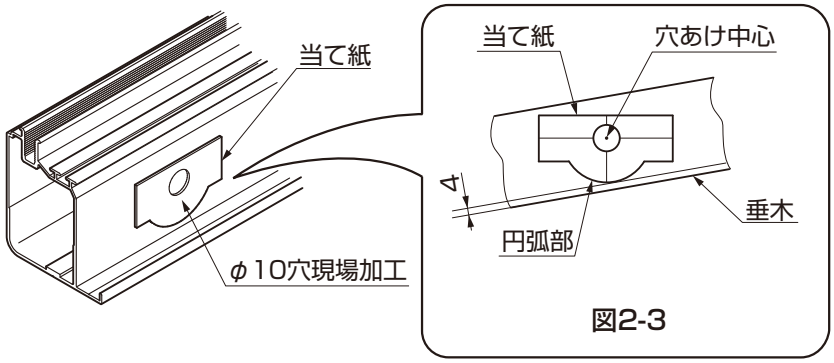


図2-2

図2-3

ポイント

- 下穴にバリが出た場合は取除いてください。
- バリを取除かないと、ガタツキの原因になります。

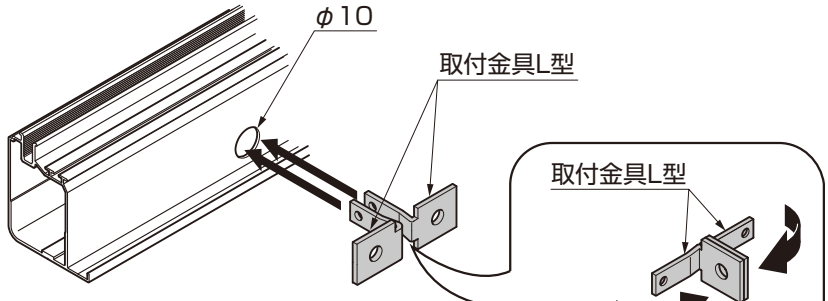


図2-4

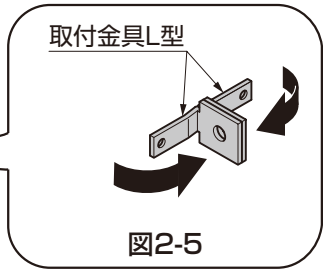


図2-5

ポイント

- 取付金具L型を挿入後、矢印の方向に倒してください。（図2-5参照）

Z265_200802B

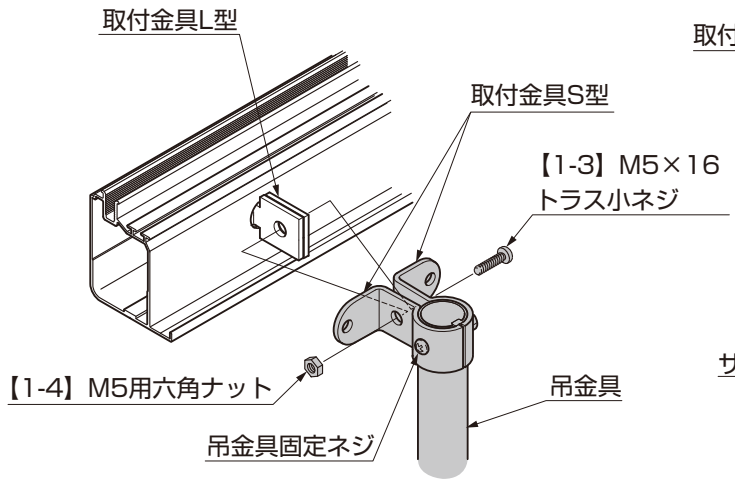


図2-6

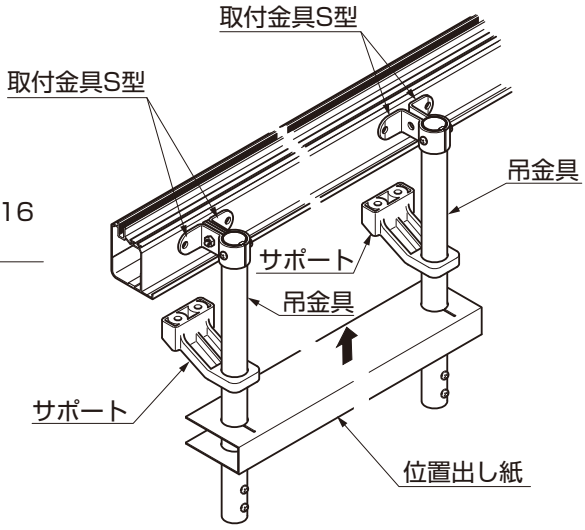


図2-7

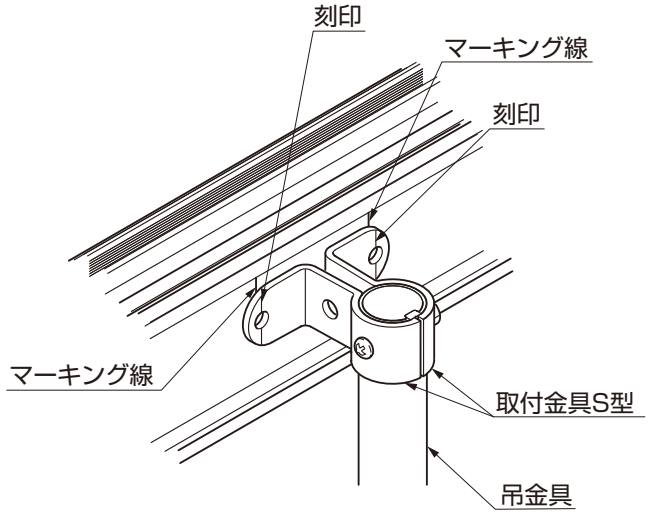


図2-8

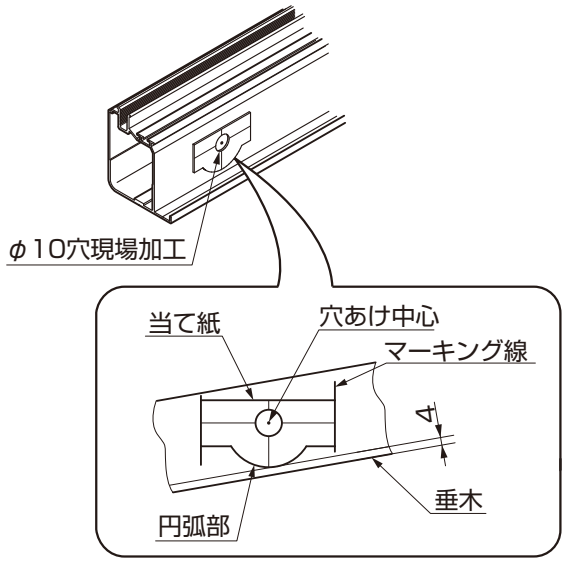


図2-9

補足

●取付金具L型がはさみにくい場合は、「吊金具固定ネジ」をゆるめてください。(図2-6参照)

ポイント

●位置出し紙を垂木に近づけて水平を確認してください。(図2-7参照)
●固定していない吊金具に付いた取付金具S型の刻印の上下をマーキングしてください。(図2-8参照)
●マーキング線に当て紙の両端部と円弧部を合わせ、穴あけ中心にφ10の穴をあけてください。(図2-9参照)
●位置出し紙を外してください。

2. 物干し本体の組立て

2-1 ハンガー掛けの固定 ※ワイド本体Eの場合の作業です。

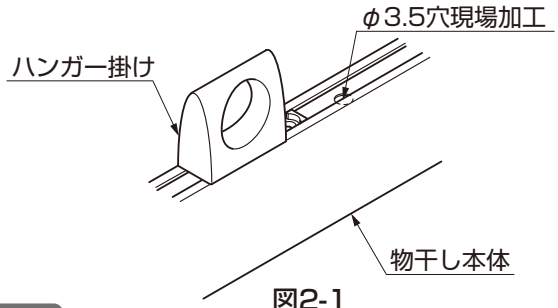


図2-1

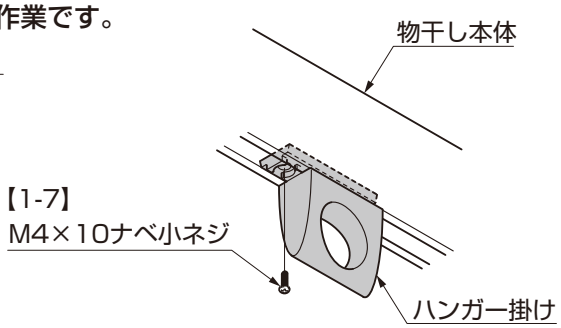


図2-2

補 足

●穴位置の寸法は「1 基本寸法と各部名称　1. 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●ハンガー掛けを止める【1-7】は手回しドライバーで締付けてください。

2-2 スライド棒の取付け

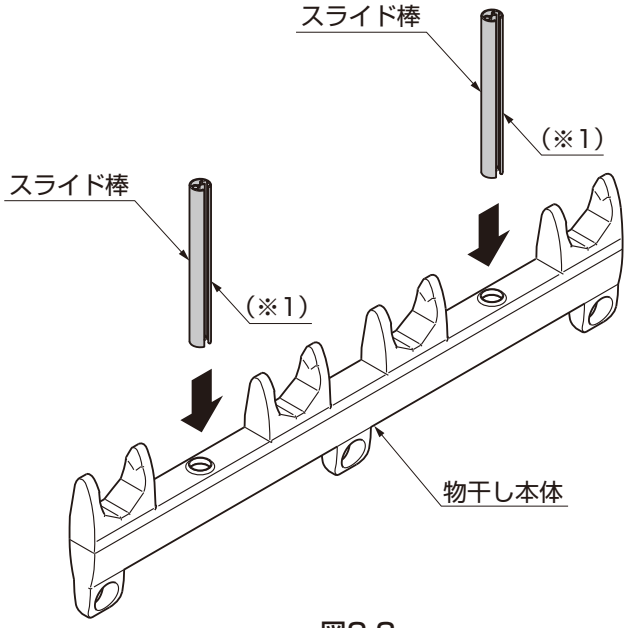


図2-3

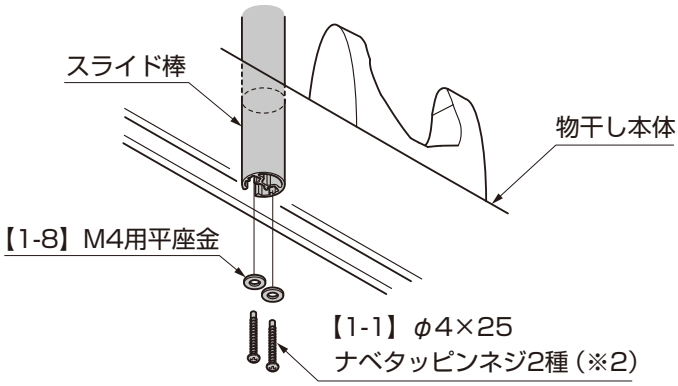


図2-4　標準本体Jの場合

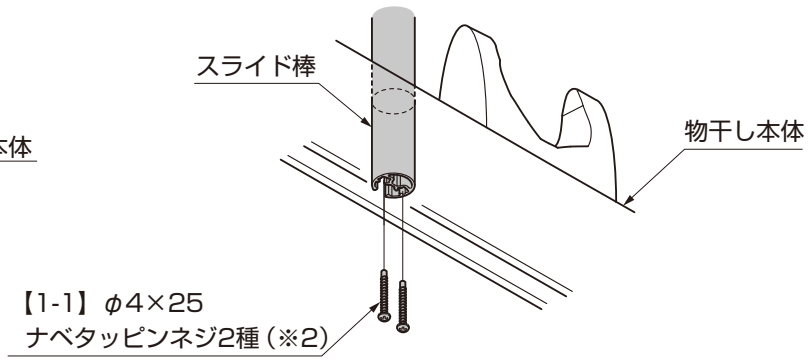


図2-5　ワイド本体Eの場合

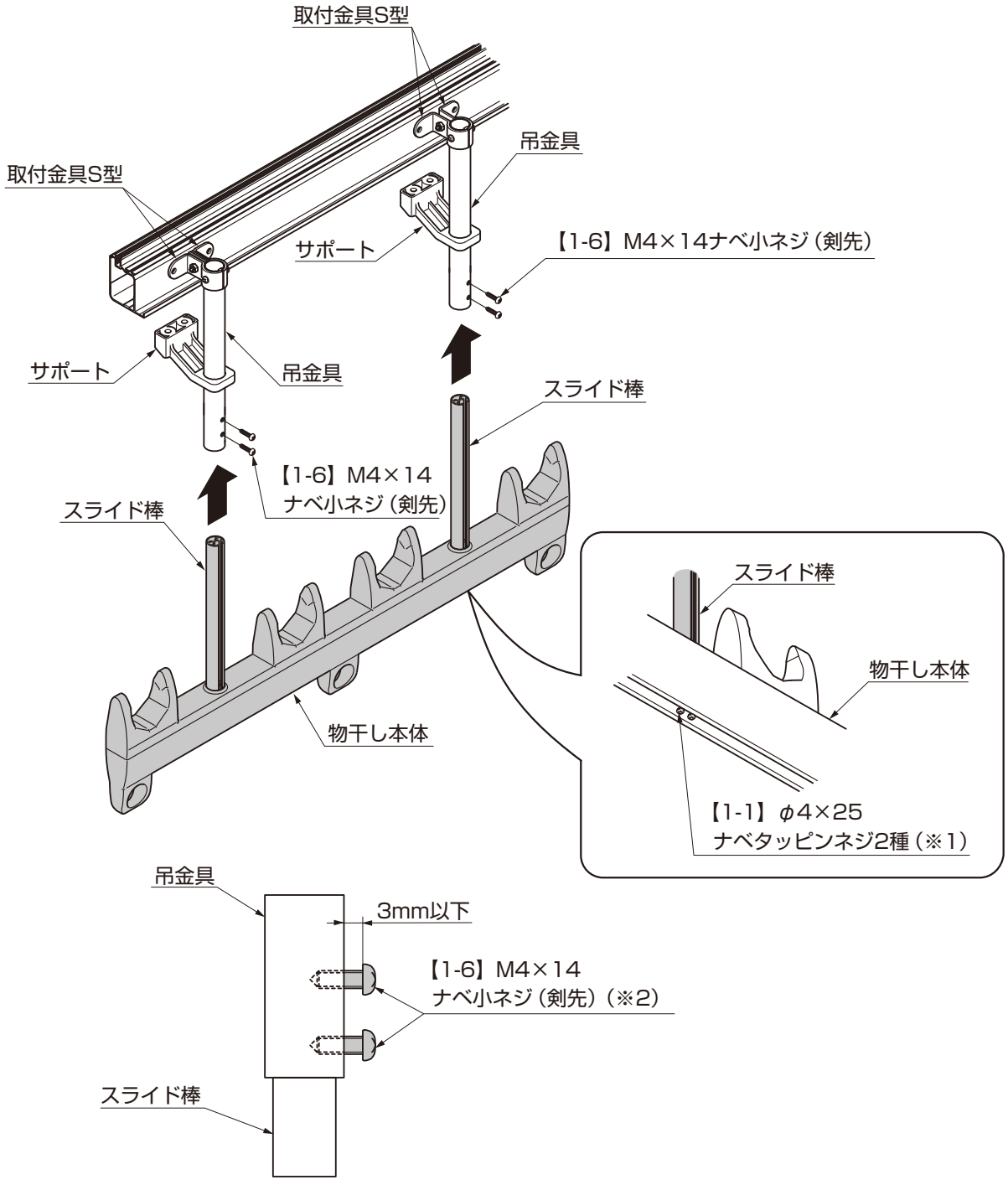
ポイント

●スライド棒の溝が2本とも同じ側を向くようにしてください。(※1)（図2-3参照）

補 足

●物干し本体とスライド棒をで仮止めしてください。(※2)
●本締めするとスライド棒がねじれて吊金具に挿入できない場合があります。

3. 物干し本体と吊金具の取付け　※図は竿掛けセットJ（標準本体）示します。



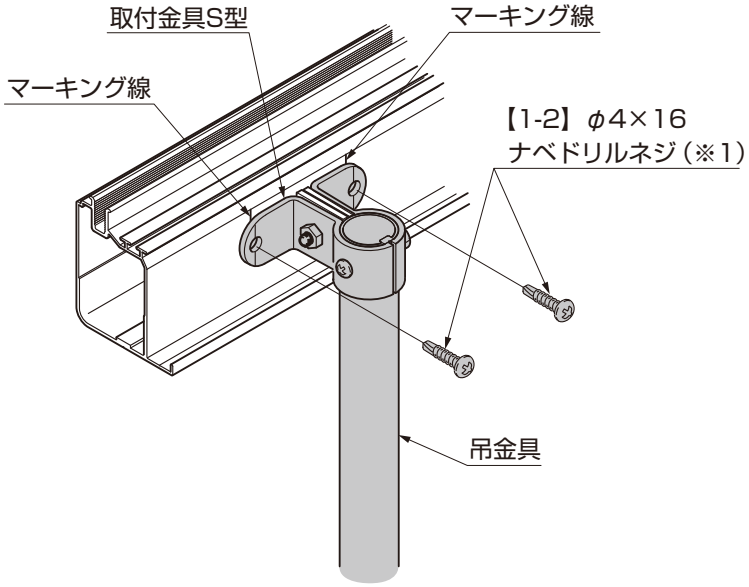
①スライド棒を吊金具に通して、【1-6】で仮止めしてください。
②【1-1】を本締めしてください。（※1）
③【1-6】をゆるめ、長さと角度を調整してください。
④【1-6】の首下が3mm以下になるまで締付けてください。（※2）

ポイント

●スライド棒（ナベタッピンネジ）・吊金具（ナベ小ネジ）の取付けネジは、ゆるみ・ガタツキがないように確実に締付けてください。

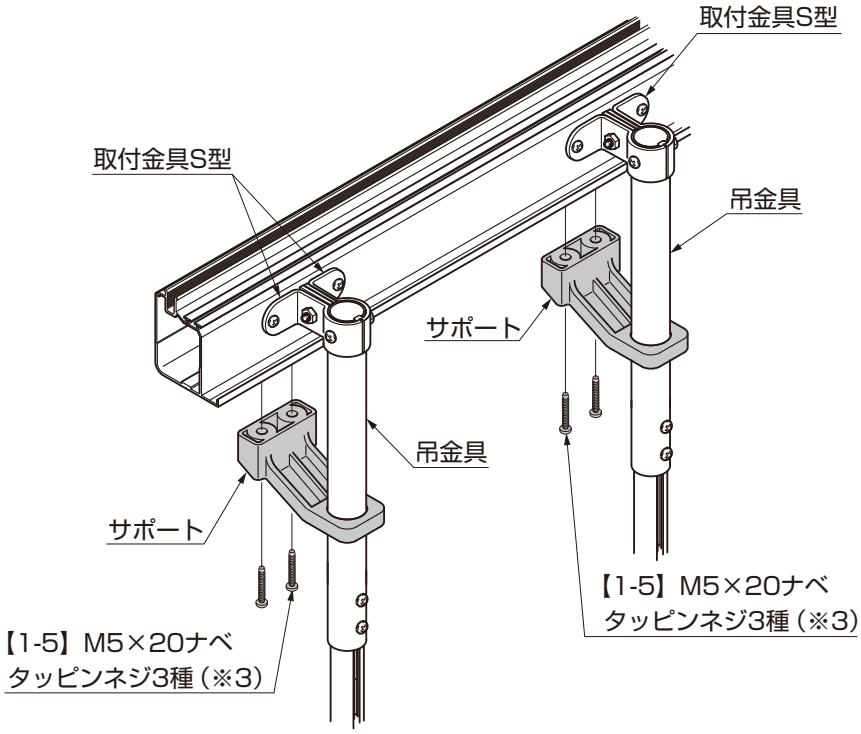
Z265_200701A

4. 垂木部の補強



ポイント

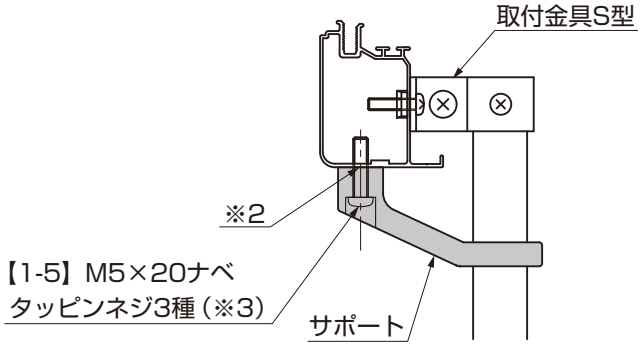
●【1-2】は特殊加工してあるので必ず同梱のネジを使ってください。（※1）



●マーキングした位置に下穴（φ4）をあけてください。（※2）

ポイント

●【1-5】の取付けトルクは120kgf・cm以下にしてください。（※3）



Z265_200802B

3　物干し取付け桟を使用する場合

1. 吊金具の加工

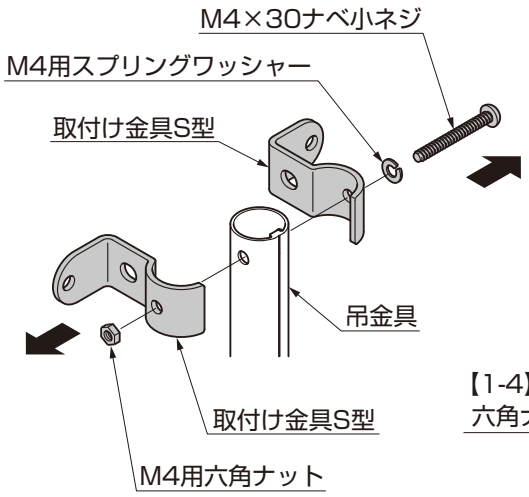


図1-1

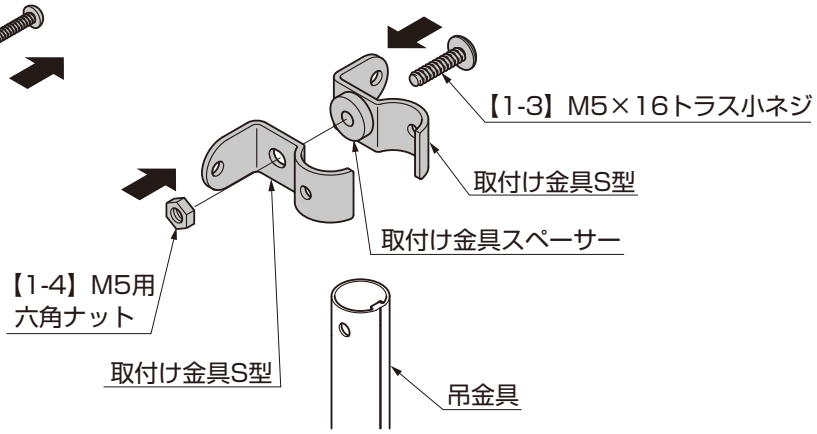


図1-2

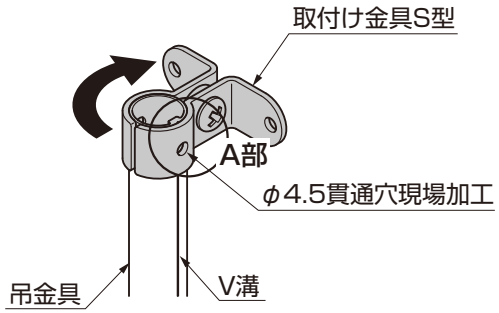


図1-3

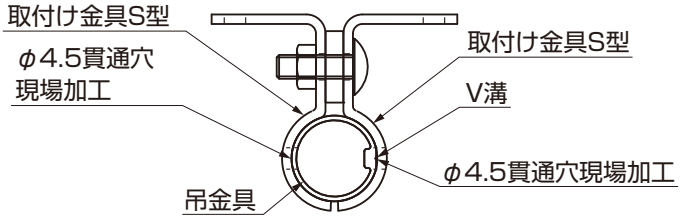


図1-4　A部詳細図

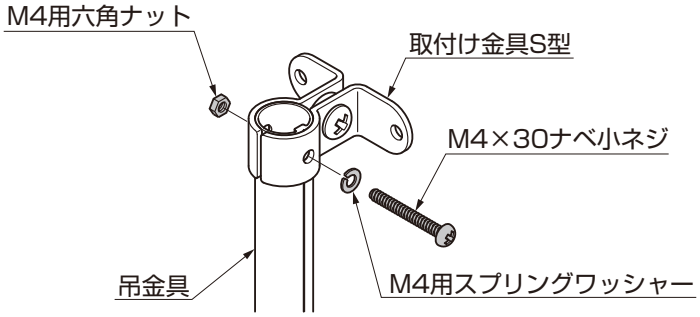
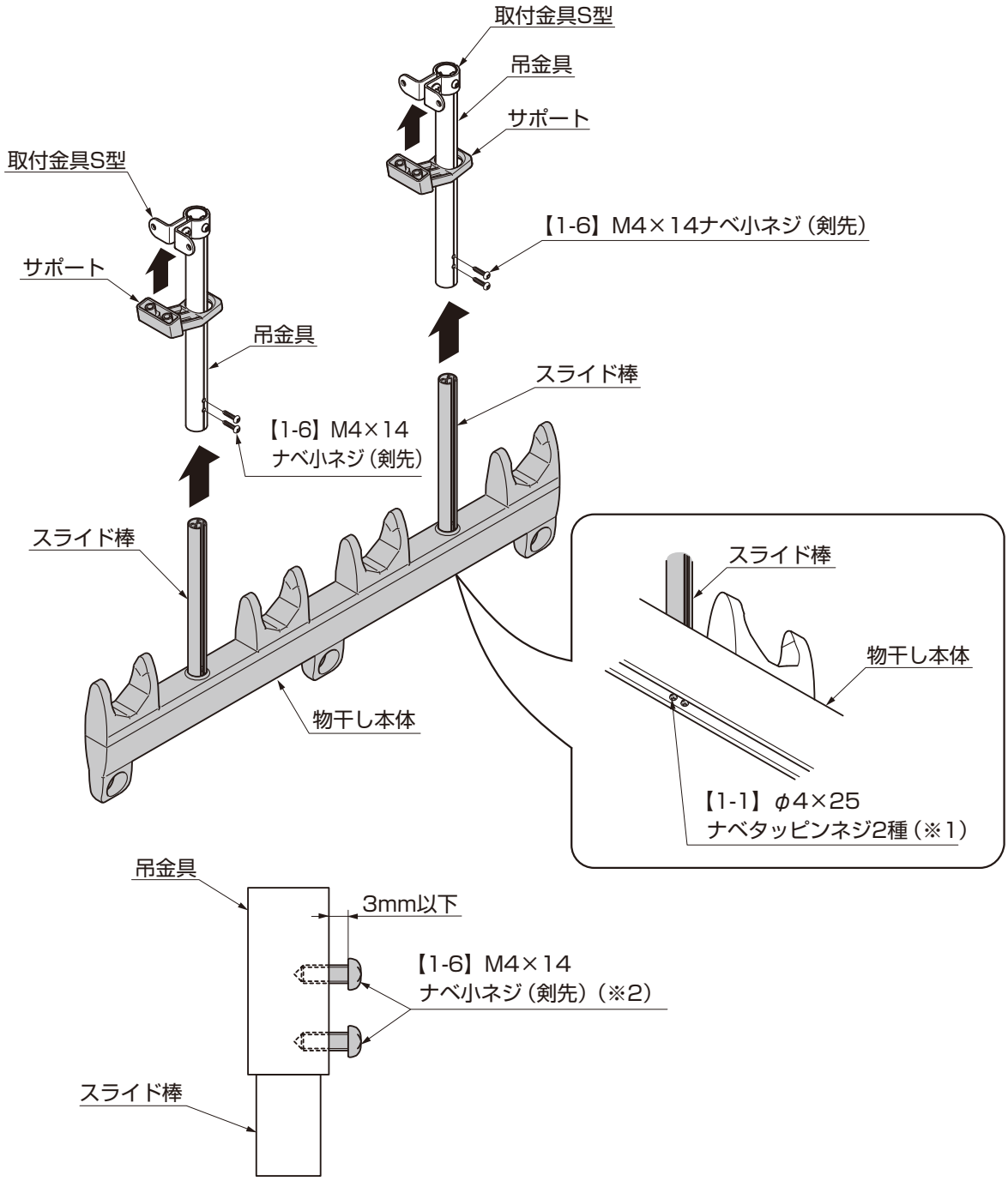


図1-5

2. 物干し本体と吊金具の取付け　※図は竿掛けセットJ（標準本体）示します。



①「2 垂木に取付ける場合　2.物干し本体の組立て」を参照して、物干し本体を組立ててください。
②サポート、スライド棒を吊金具に通して、【1-6】で仮止めしてください。
③【1-1】を本締めしてください。（※1）
④【1-6】をゆるめ、長さと角度を調整してください。
⑤【1-6】の首下が3mm以下になるまで締付けてください。（※2）

ポイント

●スライド棒（ナベタッピンネジ）・吊金具（ナベ小ネジ）の取付けネジは、ゆるみ・ガタツキがないように確実に締付けてください。

Z265_200701A

3. 物干し取付け桟の加工

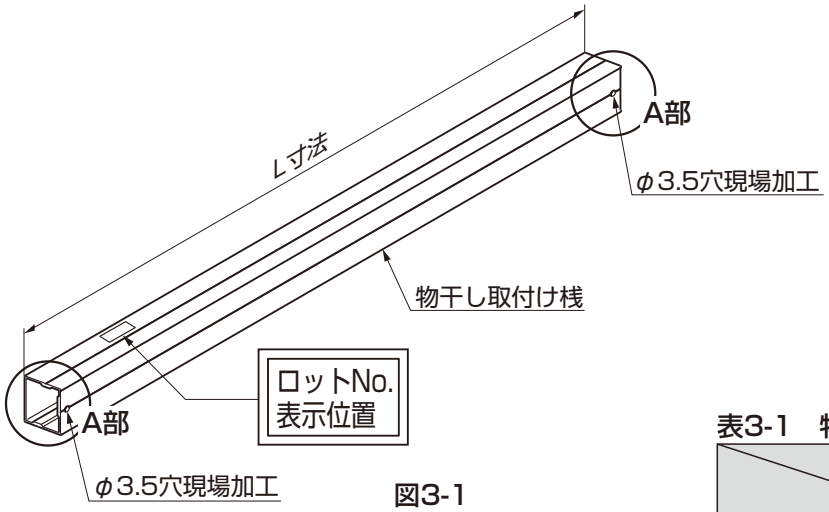


図3-1

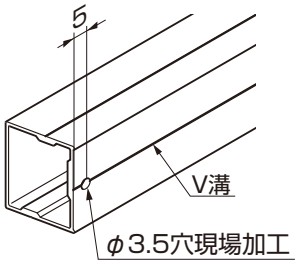


図3-2　A部詳細図

表3-1　物干し取付け桟切断寸法表

	L寸法	
	関東間	メーター間
サンクテラスⅡ	868	958

ポイント

●切断する際は、ロットNo.がなくならないようにしてください。

4. 物干し取付け桟（前枠側）の取付け

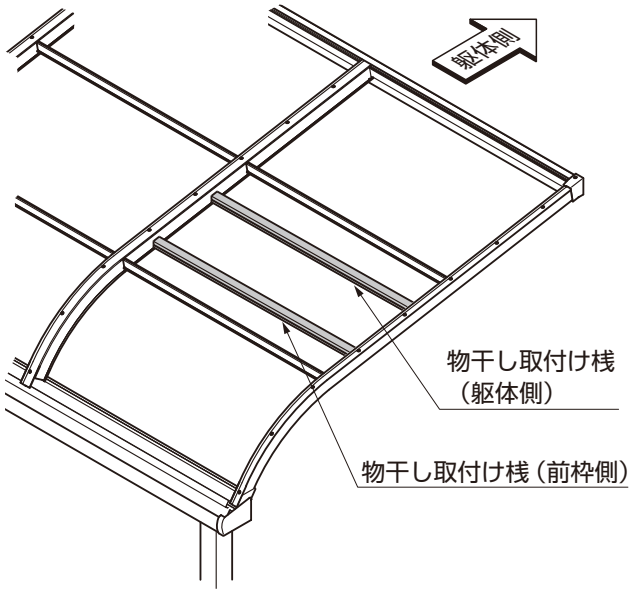


図4-1

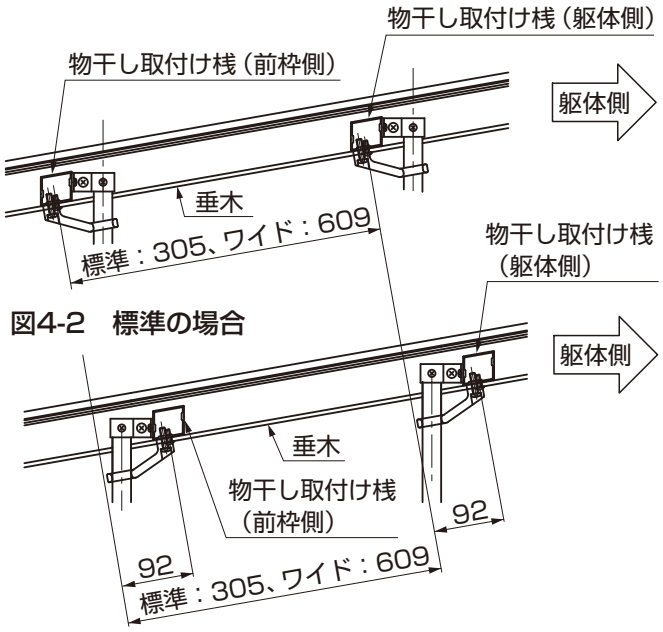


図4-2　標準の場合

図4-3　※1の場合

ポイント

●「1 基本寸法と各部名称　1.基本寸法」のA寸法が160mm以下の場合や物干し取付け桟が野縁と干渉する場合は、図4-3のように吊金具の取付く向きが変わるように物干し取付け桟をずらしてください。（※1）

Z265_200802B

4.（つづき）

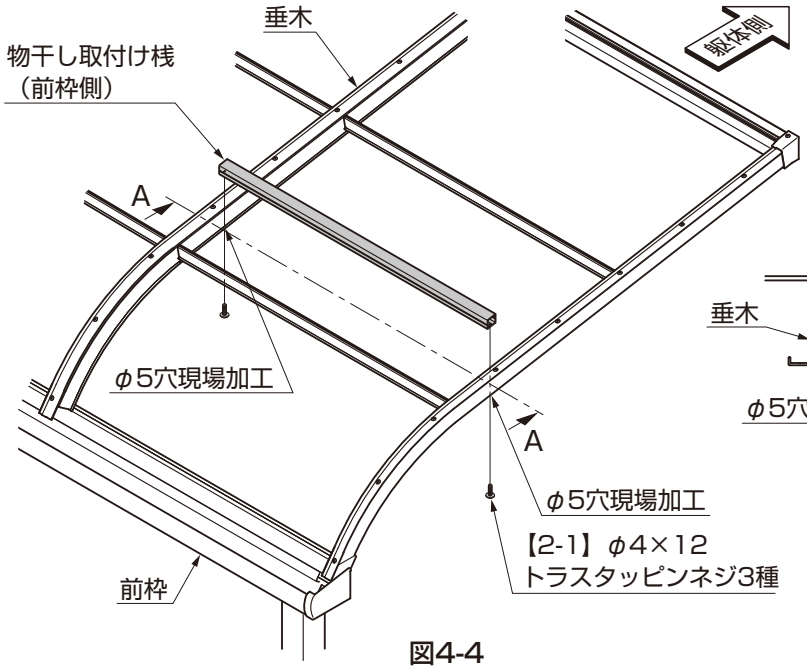


図4-4

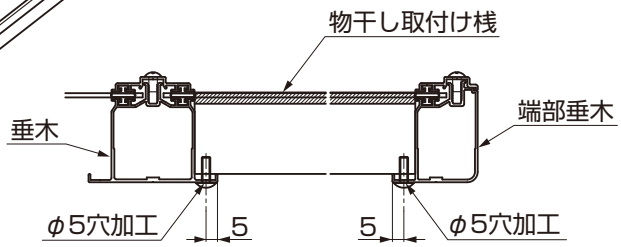


図4-5　A－A矢視図

ポイント

●吊金具が前枠側にくる納まりの場合は、物干し取付け桟を垂木に固定してしまうと吊金具の取付けがしにくくなります。「5.吊金具（前枠側）の取付け」を参照して、物干し取付け桟へ吊金具を先に固定してください。

5. 吊金具（前枠側）の取付け

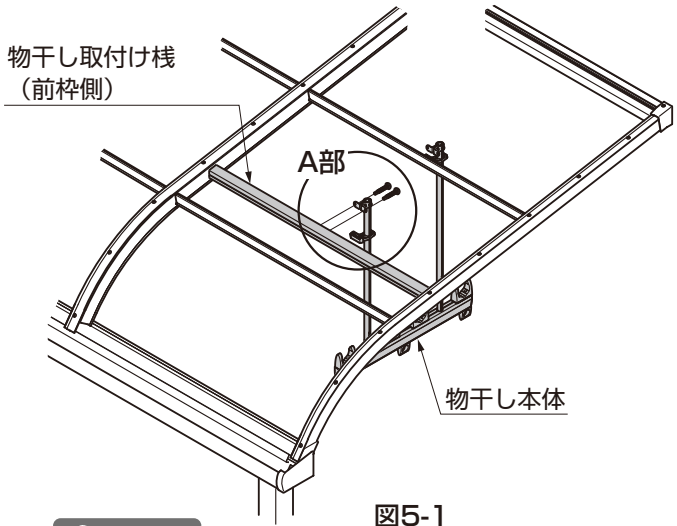


図5-1

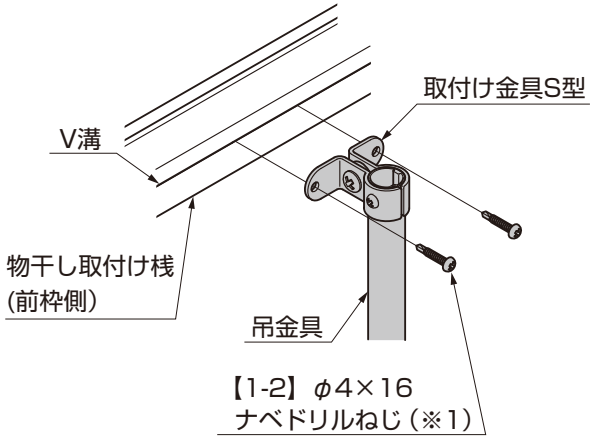


図5-2　A部詳細図

ポイント

●【1-2】は特殊加工してあるので必ず同梱のネジを使ってください。（※1）

補 足

●【1】竿掛セットに同梱の「取付金具L型」は使用しません。

Z265_200802B

6. 物干し取付け桟、吊金具（躯体側）の取付け

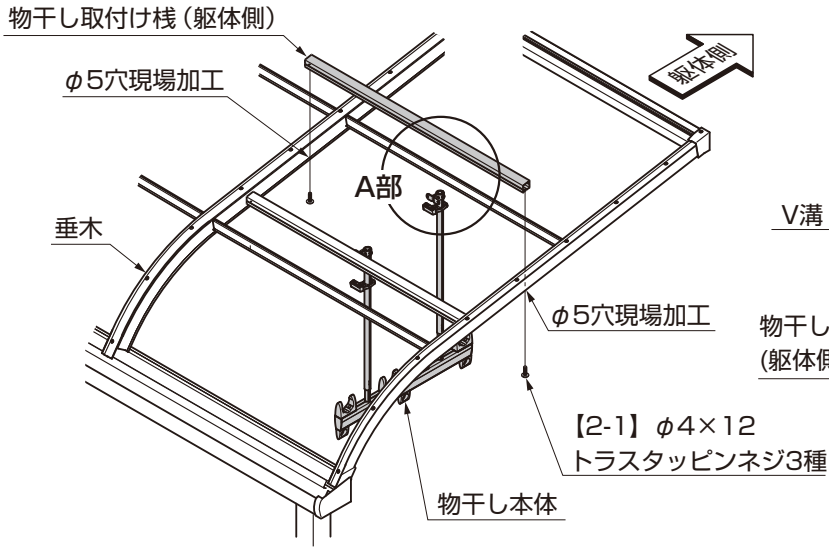


図6-1

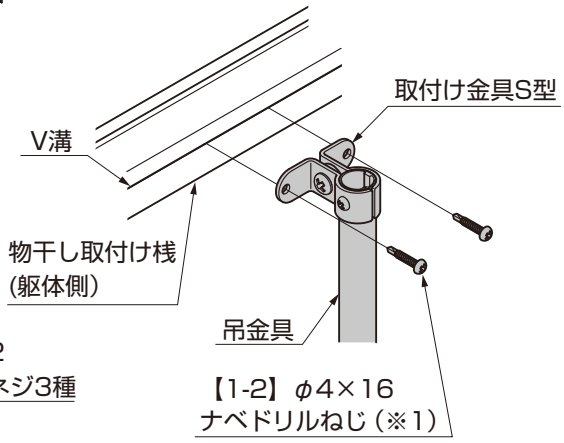


図6-2　A部詳細図

補 足

●【1】竿掛セットに同梱の「取付金具L型」は使用しません。

ポイント

●物干し本体が水平に取付いていることを確認してください。
【1-2】は特殊加工してあるので必ず同梱のネジを使ってください。（※1）

7. 吊金具の固定

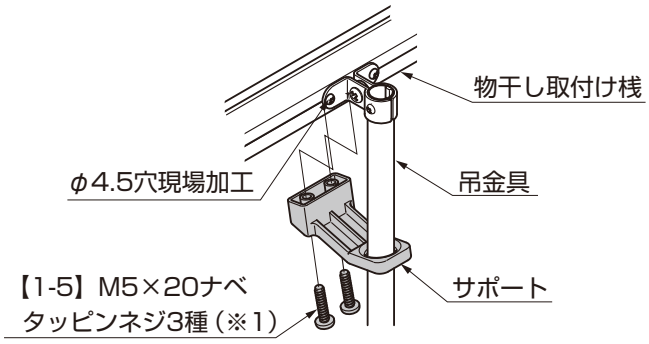


図7-1

ポイント

●【1-5】の取付けトルクは120kgf・cm以下にしてください。（※1）

取説コード
Z265
MAH00315K
200701A_1039
201607E_1048